

全国訪問看護事業協会

小児訪問看護研修プログラムの活用ガイド

～地域で研修会を開催するために～

令和7年3月

一般社団法人 全国訪問看護事業協会
小児訪問看護検討推進部会

《目次》

- I. 地域での小児訪問看護研修会開催の推進 p. 4
 - 1. 小児訪問看護研修会開催推進の目的
 - 2. 地域で研修会を開催する意義

小児訪問看護研修プログラムの活用方法

- II. 地域で小児訪問看護研修会を開催しよう p. 5
 - 1. 研修会企画のQ&A
 - 2. 小児訪問看護研修プログラムの活用
分類①～⑤の講義名
 - 3. 小児訪問看護研修プログラムの活用例 p. 7
浜松市（浜松市医療的ケア児相談支援センター）の紹介

- III. 小児訪問看護研修プログラムの詳細 p. 8
分類①～⑤講義名・目的・到達目標・学習方法・具体的な講義内容

- IV. 研修会の開催方法と工夫 p. 15
 - 1. 研修会開催の流れ
 - 2. 研修会の企画について
プログラムの立案・講師の選定・研修形式・資金調達・演習物品
 - 3. シミュレータ貸与要領の紹介

- 参考：全国訪問看護事業協会 小児訪問看護研修会 p. 20
 - 令和元年度 はじめよう小児の訪問看護 Part 1～小児訪問看護の魅力を知ろう～
 - 令和3年度 小児訪問看護研修会 Part 2～いのちを支える～
小児訪問看護研修会 Part 3～活動すること～
 - 令和4年度 小児訪問看護研修会 Part 4～呼吸すること～
小児訪問看護研修会 Part 5～食べること～

I. 地域での小児訪問看護研修会開催の推進

1. 小児訪問看護研修会開催推進の目的

全国訪問看護事業協会では、小児訪問看護を行える訪問看護ステーションの増加と質の向上を目的に、「小児訪問看護研修プログラム」を開発しました。

全国の訪問看護ステーション連絡協議会等において、このプログラムを活用して、小児訪問看護研修会を企画・運営し、継続的に開催することにより、医療的ケア児等が安心して育っていただける地域作りに役立てていただくことを期待しています。



2. 地域で研修会を開催する意義

1) 研修会開催時

①地域における課題・ニーズに沿って、学びを深めることができます。

②地域の医療機関・療育施設・福祉機関に所属する多職種連携ができます。

講師を地域の医療機関などに依頼することで、どこの施設にどのような職種や人材がいるの
かを知ることから、多職種連携に繋がります。

2) 研修会開催後

①地域の多職種と連携できます。

②研修参加者と共に子どもと家族のニーズや課題を共有できます。

参加者が地域で活動している看護師等であることで、1つの訪問看護ステーションのみで利用
者である子どもと家族の課題・ニーズを抱え込む必要がなくなります。

小児訪問看護研修プログラムの活用方法

各連絡協議会等が、小児訪問看護プログラム（P.8～14）を参考にして、それぞれの
地域に必要な講義内容をピックアップし、
研修の企画を行い開催してください。



地域における子どもの数や家族の状況、
マンパワー、利用できる施設や資源は違
うため、地域のニーズが高い講義内容を
選びましょう。

小児訪問看護プログラムすべての講
義を行う必要はありません。



Ⅱ. 地域で小児訪問看護研修会を開催しよう

1. 研修会企画のQ&A



Q: どうすれば参加者が集まるのでしょうか。

A: 集合研修だけでなく、ライブ形式やオンデマンド形式も活用しましょう。



Q: 研修費用はどのように捻出したらよいのでしょうか。

A: ・集合研修の場所などは、公的機関を活用しましょう。
・研究助成金などを活用しましょう。
・全国訪問看護事業協会のシミュレータの貸し出しを活用しましょう。
(P. 17~19 参照、全国訪問看護事業協会ホームページ→お役立ち情報
→小児訪問看護について→シミュレータ (小児看護実習モデル CLA23)
の貸し出し <https://www.zenhokan.or.jp/simulator/>)



Q: 講師はどなたに依頼したらよいのでしょうか。

A: 地域で活動している医師や小児専門の看護師、理学療法士、医療的ケア児コーディネーター等に講義を依頼しましょう。



詳しくは、Ⅳ. 小児訪問看護研修会の開催方法と工夫 (P. 15~16) をご参照ください。

2. 小児訪問看護研修プログラムの活用

- ◇当協会の「小児訪問看護研修プログラム」は、小児訪問看護において必要な知識や技術を学ぶことができます。
- ◇下表から地域に必要な講義を選んでアレンジし、地域にあった研修プログラムを作成しましょう。
- ◇当協会で開催した研修会をP.20～30に掲載しているので、参考にしてください。

小児訪問看護研修プログラムの概要 詳細はP.8～14を参照

分類①重症心身障害・小児医療概論	
講義名	最近の小児医療・重症心身障害児の医療・看護の動向／ 子どもの権利と倫理的かかわり／看護の現状と課題、訪問看護の実際／ 重症心身障害児医療の歴史・重症心身障害の概念・診断／ 診療所が実施する小児在宅医療の実際
分類②医療・看護の知識各論	
講義名	子どもの成長発達とフィジカルアセスメント／発達障害の理解と対応／ 重症心身障害児者の原因となる疾患・状態像の理解と対応／呼吸障害について／ 脳性まひ・筋疾患・染色体異常などの主な疾患について／てんかん発作について／ 消化器疾患と栄養障害について／摂食嚥下障害について学ぶ／ 睡眠障害について／排尿障害について学ぶ／排便障害について学ぶ／ 眼の機能・眼科疾患について学ぶ／耳、鼻の機能・耳鼻科疾患について学ぶ／ 循環器について／心疾患（心奇形）について／小児がんについて
分類③ケア・援助論	
講義名	呼吸障害の看護について／口腔衛生について／ 摂食嚥下障害のある患者への援助方法／人工呼吸器の基礎／ 呼吸障害の理解と肺理学療法／骨折・移乗介助・更衣／ 急変時の対応／よりよく生き抜くための重症心身障害児者の看護／ 小児リハビリテーション／家族の思いに寄り添う看護／
分類④地域で活動する他職種について	
講義名	在宅生活を支える制度や社会資源について／特別支援学校における看護の役割について／ 児童相談所の機能と役割について／他職種の理解とチーム医療について／ 福祉用具／相談支援と連携／
分類⑤施設等でのケアの実際	
講義名	診療所におけるケアの実際を学ぶ／NICUにおける実際のケアを学ぶ／ 医療型入所施設・療養介護における実際のケアを学ぶ／ 訪問看護の実際を学ぶ／特別支援学校における実際のケアを学ぶ／ 通所施設における実際のケアを学ぶ／

3. 小児訪問看護研修プログラムの活用例

当協会の「小児訪問看護研修プログラム（P 8～14）」を参考に、協議会等で研修を組み立て、実施している地域の研修内容をご紹介します。

<浜松市（浜松市医療的ケア児相談支援センター）の紹介>

令和5年度 看護・保健・福祉・教育・保育分野合同
浜松市医療的ケア児等支援者養成研修

Part 1 日程

令和5年
10月26日(木)
13:00～16:00

先着80名

Part 2 日程

令和5年
①11月7日(火)AM
②11月15日(水)PM
③11月30日(金)PM
④12月10日(火)AM

締切 月 日

場所:浜松市勤労会館Uホール

場所:各事業所

<研修テーマ>

Part 1
医療的ケア児者を知り、浜松市の支援の取り組みを知ろう
実際の医療的ケアの手法や物品に触れてみよう

- ①浜松市の災害時支援の取り組み
- ②医療的ケア児者を知ろう
- ③実際の医療的ケアは?使う物品に触ってみよう
救急対応を知ろう

Part 2
医療的ケア児者や重症心身障害児、肢体不自由児が過ごす施設を見学しよう

- ①児発・放デイ
- ②放デイ
- ③児発・放デイ
- ④生活介護

令和5年度浜松市医療的ケア児等支援者養成研修
<研修内容>

日程	定員	テーマ	講師
PART 1 10月26日(木) 13:00-16:00	80名	浜松市の災害時支援の取り組み	障害保健福祉課
		医療的ケア児者を知ろう	浜松市医療的ケア児等コーディネーター
PART 2 11月7日(火) 10:00-12:00 11月15日(水) 14:30-15:30 11月30日(金) 15:00-16:00 12月10日(火) 10:00-11:00	若干名	医療的ケアと救急対応を知ろう	看護師 医師
	若干名	児童発達支援 放デイ施設見学	
	若干名	放デイ施設見学	
	若干名	児童発達支援 放デイ施設見学	
若干名	生活介護施設見学		

<申込み>

令和5年10月6日までに下記専用フォームまたはQRコードより申込

!講座のみの申し込みも可能です

<問合せ> 浜松市役所 障害保健福祉課

小児訪問看護研修プログラム

分類①重症心身障害・小児医療概論
講義:最近の小児医療・重症心身障がい児の医療・看護の動向からピックアップ

ポイント!

- 医療的ケア児等支援センターの医療的ケア児コーディネーターが多職種にわかりやすく伝える
- ・医療的ケア児ってどんなお子さんのこと?
- ・どういう背景でこうしたお子さんが増えてきているのか
- ・どんな支援が必要か など

小児訪問看護研修プログラム

分類③ケア・援助論
講義:急変時の対応からピックアップ

ポイント!

- 物品を見せて説明するところから始まり、実際にシミュレータでBLS演習を行う

小児訪問看護研修プログラム

分類④地域で活動する他職種について
講義:在宅生活を支える制度や社会資源についてからピックアップ

ポイント!

- 実際に見学し、施設の方から利用する児の状況、利用に至るまでの流れ、サービスの役割などをレクチャーする

Ⅲ. 小児訪問看護研修プログラムの詳細

P. 6 に示した小児訪問看護研修プログラム概要の詳細です。

- ◇それぞれの地域に必要な講義内容をピックアップし、研修の企画を行い開催することができます。
- ◇地域の状況、マンパワー、利用できる施設や資源は違うため、ニーズが高い講義や今までに開催していない講義を選びましょう。
- ◇すべての講義を行う必要はありません。

小児訪問看護研修プログラムの詳細

分類①重症心身障害・小児医療概論	
講義：最近の小児医療・重症心身障害児の医療・看護の動向	
目的	小児医療・重症心身障害児医療・看護の動向と訪問看護の必要性を理解し、子どもと家族をとりまく現状の課題について検討する
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもをとりまく医療と看護の動向、環境について理解できる ・重症心身障害児の医療について理解できる ・小児訪問看護における看護の課題を検討できる
学習方法	講義・演習（ディスカッション）3時間
具体的な講義内容	<ul style="list-style-type: none"> ・小児医療の現状・課題とは ・医療的ケアとは(概念・状態像など) ・小児医療における重症心身障害児の医療の現状と課題 ・重症心身障害児の高齢化と移行期ケアについて ・小児医療で活用できる医療費制度について（政策や取り組みなどを含む）
講義：子どもの権利と倫理のかかわり	
目的	子どもの権利を理解し、倫理的な関わりについて学ぶ
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの権利を理解する ・倫理的な関わりについて考えることができる
学習方法	講義・演習（ディスカッション）3時間
具体的な講義内容	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法における子どもの権利について ・子どもの権利条約について ・倫理の概念 ・看護協会における倫理指針について ・日常のケア場面における倫理的配慮・ケアを事例を示す
講義：看護の現状と課題、訪問看護の実際	
目的	新生児医療の動向、NICUでの医療・看護の役割、機能を理解する
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・新生児医療の実際と動向が理解できる ・NICUでケアを受ける子どもとその家族の状況が理解できる ・NICUの医療従事者のかかえる課題が理解できる
学習方法	講義2時間
具体的な講義内容	<ul style="list-style-type: none"> ・新生児医療の現状と課題 (NICUでケアを受ける子どもの状態やNIC 満床U 問題の背景など) ・新生児医療からの退院支援の実際や課題 (地域の医師や訪問看護ステーションとの連携) ・新生児医療を受ける家族の現状と課題
講義：重症心身障害児医療の歴史・重症心身障害の概念・診断	
目的	重症心身障害児医療の歴史、概念、定義を学ぶ
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・重症心身障害児医療の歴史の変遷がわかる ・重症心身障害児の概念が理解できる ・重症心身障害児の診断（大島分類など）が理解できる
学習方法	講義2時間
具体的な講義内容	<ul style="list-style-type: none"> ・重症心身障害児の医療の歴史の変遷について ・重症心身障害児の概念 ・重症心身障害児の診断（大島分類について）
講義：診療所が実施する小児在宅医療の実際	
目的	小児在宅医療を支える地域医療の役割・機能について理解できる
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・小児在宅医療に関する開業医の取り組みが理解できる ・地域医療における開業医の役割・機能について理解できる
学習方法	講義2時間
具体的な講義内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域での訪問看護の連携の実際について

内容	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅医などとの地域連携について ・小児科医ではない在宅医との連携について ・小児科医の在宅医療の実際と課題について ・大学病院などの医療連携について
----	--

分類②医療・看護の知識各論	
講義：子どもの成長発達とフィジカルアセスメント	
目的	子どもの発達・生理学的変化を理解できる
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの成長発達について理解できる ・子どもの全身アセスメントの方法が理解できる ・フィジカルアセスメントの方法を演習できる
学習方法	講義3時間 演習3時間
具体的な講義内容	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの身体の生理的な特徴などについて（おとなと子どものフィジカルアセスメントの違いや詳しい生理学的変化の違い） ・子どもの成長発達について ・フィジカルアセスメント技術 ・子どもに特長的な感染症について（病態と治療麻疹・風疹・水痘・手足口病・流行性耳下腺炎・尿路感染症・MRSA など） ・予防接種について
講義：発達障害の理解と対応	
目的	小児の発達・生理学的変化を理解し、発達障害とその対応を学ぶ
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・発達障害の原因、分類が理解できる ・発達障害を持つ子どもとその家族への適切な対応や、援助の方法がわかる
学習方法	講義2時間
具体的な講義内容	<ul style="list-style-type: none"> ・発達障害とは、原因とメカニズムについて ・発達障害がある子どもとその家族への対応について
講義：重症心身障害児者の原因となる疾患・状態像の理解と対応	
目的	重症心身障害児者の原因となる疾患・状態像を理解し、その対応、かかわりについて学びを深める
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・重症心身障害児者の原因となる疾患、状態像と合併症について理解できる ・重症心身障害児の状態像に対応した治療方法や関わりについて理解できる
学習方法	講義2時間
具体的な講義内容	<ul style="list-style-type: none"> ・重症心身障害の原因となる疾患の合併症や治療について（出生前・出生時から新生時期・新生児期から18歳までの時期に分けた原因） ・重症心身障害となる疾患をもつ子どもの成長発達の実状と対応について（事例をまじえて）
講義：呼吸障害について	
目的	呼吸のメカニズムを理解し、呼吸障害に対する治療とその看護について理解する
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・呼吸のメカニズムを理解する ・呼吸障害のメカニズムを理解する ・呼吸障害に対する治療について理解する
学習方法	講義3時間
具体的な講義内容	<ul style="list-style-type: none"> ・呼吸のメカニズムについて ・呼吸障害のメカニズムについて ・呼吸障害に対する治療について（看護における注意点なども含める）
講義：脳性まひ・筋疾患・染色体異常などの主な疾患について	
目的	重症心身障害児の主要疾患・病態について学ぶ
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・脳性まひについて理解する ・代表的な筋疾患の病態について理解する ・代表的な染色体異常の病態について理解する ・各疾患の治療について理解できる ・筋緊張の病態について理解できる
学習方法	講義4時間
具体的な講義内容	<ul style="list-style-type: none"> ・脳性まひについて ・代表的な筋疾患の病態について ・代表的な染色体異常の病態について ・各疾患の治療について ・筋緊張の病態について
講義：てんかん発作について	
目的	てんかん発作の病態と治療について学ぶ
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・てんかんの原因、診断、治療について理解する ・てんかん発作の観察ポイントについて理解する ・てんかん発作を予防するための日常生活管理について理解する
学習方法	講義2時間
具体的な講義内容	<ul style="list-style-type: none"> ・てんかんの原因、診断、治療について ・てんかん発作の観察ポイントについて ・てんかん発作を予防するための日常生活管理について
講義：消化器疾患と栄養障害について	

目的	栄養障害が発生する消化器官の病態について理解し、それらに対する援助方法がわかる
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 消化のメカニズムを理解する 消化器疾患の病態を理解する 消化器疾患への治療方法について理解する 栄養のメカニズムを理解する
学習方法	講義 2 時間
具体的な講義内容	<ul style="list-style-type: none"> 消化のメカニズムについて 消化器疾患の病態について 消化器疾患への治療方法について 栄養のメカニズムについて
講義：摂食嚥下障害について学ぶ	
目的	摂食嚥下障害の病態生理について学ぶ
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 摂食嚥下のメカニズム、解剖生理が理解できる 摂食嚥下障害の原因、病態が理解できる 摂食嚥下障害の治療・対応方法が理解できる
学習方法	講義 2 時間
具体的な講義内容	<ul style="list-style-type: none"> 摂食嚥下のメカニズム、解剖生理について 摂食嚥下障害の原因、病態について 摂食嚥下障害の治療・対応方法について
講義：睡眠障害について	
目的	睡眠のメカニズムを理解し、睡眠障害の原因、援助方法について学ぶ
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 睡眠のメカニズムについて理解する 睡眠障害のメカニズムについて理解する 睡眠障害の治療について理解する 睡眠障害への援助方法について理解する
学習方法	講義 1 時間
具体的な講義内容	<ul style="list-style-type: none"> 睡眠のメカニズムについて 睡眠障害のメカニズムについて 睡眠障害の治療について 睡眠障害への援助方法について
講義：排尿障害について学ぶ	
目的	排尿のメカニズムを理解し、排尿障害の治療に沿った援助方法を理解する
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 排尿のメカニズムが理解できる 排尿障害の病態が理解できる 排尿障害への治療方法が理解できる 排尿障害の援助方法について理解する
学習方法	講義 1 時間
具体的な講義内容	<ul style="list-style-type: none"> 排尿のメカニズムについて 排尿障害の病態について 排尿障害への治療方法について 排尿障害の援助方法について
講義：排便障害について学ぶ	
目的	排便のメカニズムを理解し、排便障害の治療に沿った援助方法を理解する
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 排便のメカニズムが理解できる 排便障害の病態が理解できる 排便障害への治療方法が理解できる
学習方法	講義 1 時間
具体的な講義内容	<ul style="list-style-type: none"> 排便のメカニズムについて 排便障害の病態について 排便障害への治療方法について
講義：眼の機能・眼科疾患について学ぶ	
目的	眼の機能、眼科疾患について理解し、治療に沿った援助方法を理解する
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 眼の機能を理解する 眼科疾患について理解する 眼科疾患の治療方法について理解する
学習方法	講義 1 時間
具体的な講義内容	<ul style="list-style-type: none"> 眼の機能について 眼科疾患について 眼科疾患の治療方法について
講義：耳、鼻の機能・耳鼻科疾患について学ぶ	
目的	耳、鼻の機能、耳鼻科疾患について理解し、治療に沿った援助方法を理解する
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 耳、鼻の機能を理解する 耳鼻科疾患について理解する 耳鼻科疾患の治療方法について理解する
学習方法	講義 1 時間
具体的な講義内容	<ul style="list-style-type: none"> 耳、鼻の機能について 耳鼻科疾患について

	・耳鼻科疾患の治療方法について
講義：循環器について	
目的	循環器の機能、疾患について理解し、治療に沿った援助方法を理解する
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・循環機能を理解する ・循環器疾患について理解する ・循環器疾患の治療方法について理解する
学習方法	講義 2 時間
具体的な講義内容	<ul style="list-style-type: none"> ・循環機能について ・循環器疾患について ・循環器疾患の治療方法について ・心臓の冠動脈に病変を残す「川崎病」、学校検診でみつかると「不整脈」や「心筋症」について
講義：心疾患（心奇形）について	
目的	生まれつき心臓の形と機能に異常のある「先天性心疾患」について理解し、治療に沿った援助方法を理解する
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・先天性心疾患について理解する ・先天性心疾患の治療方法について理解する ・先天性心疾患の日常生活の注意点について理解する
学習方法	講義 3 時間
具体的な講義内容	<ul style="list-style-type: none"> ・先天性心疾患について ・先天性心疾患の治療方法について（手術の方法なども含む） ・先天性心疾患の日常生活の注意点について
講義：小児がんについて	
目的	子どもに特徴的ながんの症状、治療に沿った援助方法を理解する
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもに特徴的ながんについて理解する ・がんの治療方法について理解する ・がん罹患している子どもの日常生活の注意点について理解する
学習方法	講義 3 時間
具体的な講義内容	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもに特徴的ながんについて ・がんの治療方法について ・がん罹患している子どもの日常生活の注意点について

分類③ケア・援助論	
呼吸障害の看護について	
目的	呼吸障害に対する観察ポイント・看護について理解する
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・呼吸障害に対する観察ポイントが理解できる ・ネブライザーや在宅酸素吸入器などの使用方法が理解できる ・安楽に呼吸するための援助方法が理解できる
学習方法	講義・演習 3 時間
具体的な講義内容	<ul style="list-style-type: none"> ・人工呼吸器のアラームへの対処方法などについて ・気管切開部への対応について ・ネブライザーや在宅酸素吸入時の注意点について ・吸引の際の注意点について
講義：口腔衛生について	
目的	良好な口腔衛生を維持するための援助方法を理解する
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・口腔の解剖生理と機能について理解できる ・清潔を保つ口腔ケアの方法がわかる
学習方法	講義・演習 3 時間
具体的な講義内容	<ul style="list-style-type: none"> ・口腔の解剖生理と機能について ・清潔を保つ口腔ケアの方法と注意点について
講義：摂食嚥下障害のある利用者への援助方法	
目的	摂食嚥下障害がある利用者への援助方法を学ぶ
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・摂食嚥下障害がある利用者の摂食介助時の注意点が理解できる ・摂食嚥下障害がある利用者の摂食介助を演習できる
学習方法	講義・演習 3 時間
具体的な講義内容	<ul style="list-style-type: none"> ・摂食嚥下障害がある利用者の摂食介助時の注意点について
講義：人工呼吸器の基礎	
目的	人工呼吸器についての基本的知識と、安全な人工呼吸器管理に必要な知識を学ぶ
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・人工呼吸器の原理が理解できる ・人工呼吸器管理中の注意点、看護について理解できる
学習方法	講義・演習 1 時間
具体的な講義内容	<ul style="list-style-type: none"> ・人工呼吸器の原理について ・人工呼吸器管理中の注意点、看護について
講義：呼吸障害の理解と肺理学療法	
目的	呼吸障害のある障害児者の観察アセスメントを学び、安楽な呼吸のための効果的なポジショニング、リラクゼーションの技術を習得する

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 呼吸のメカニズムを理解し、呼吸障害の評価ができる 効果的なポジショニング、リラクゼーションについて理解し、実践することができる
学習方法	講義・演習 4 時間
具体的な講義内容	<ul style="list-style-type: none"> 呼吸のメカニズムの理解と、呼吸障害の評価のポイントについて 効果的なポジショニング、リラクゼーションについて
講義：骨折・移乗介助・更衣	
目的	骨折の機序、原因、骨折予防に重点をおいた移乗介助や更衣の際の注意点を学ぶ
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 骨の解剖生理を理解できる 骨折予防の注意点を理解できる 移乗の際の注意点を理解できる 更衣の際の注意点を理解できる
学習方法	講義・演習 2 時間
具体的な講義内容	<ul style="list-style-type: none"> 骨の解剖生理について 骨折予防の注意点について 移乗の際の注意点について 更衣の際の注意点について
講義：急変時の対応	
目的	小児の BLS 技術を学び、在宅における緊急時の対応方法を、具体的にイメージ化できる
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 小児の BLS 技術が実践できる 小児の緊急時の対応について具体的にイメージできる
学習方法	講義・演習 3 時間
具体的な講義内容	<ul style="list-style-type: none"> 小児の BLS 技術が実践できるように演習を実施する 小児の緊急時の対応について具体的にイメージできるように事例を交え、ポイントを説明
講義：よりよく生き抜くための重症心身障害児者の看護	
目的	重症心身障害児者がよりよく生き抜くための看護について理解し、課題について検討する
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 疾病により身体機能の危機的状態にある、および成長発達・加齢に伴い終末期に向かう重症心身障害児者の病態が理解できる 重症心身障害児者の治療の選択、家族の思いを理解することができる 終末期に向かうあるいは終末期にある重症心身障害児者とその家族の支援について考えることができる
学習方法	講義・演習（ディスカッション）2 時間
具体的な講義内容	<ul style="list-style-type: none"> 疾病により身体機能の危機的状態にある（幼少期の身体機能の未熟さによる症状や進行性疾患による症状や病態）、および成長発達・加齢に伴い身体機能の変化によって表出する症状の悪化（側弯などによる呼吸障害、嚥下機能の低下による誤嚥性肺炎の繰り返し）などの重症心身障害児者の病態について 重症心身障害児者の治療の選択、家族の思いについて 終末期に向かうあるいは終末期にある重症心身障害児者とその家族の看護（痛みのケア・呼吸を安楽にするケア・家族と共に過ごすためのケア・家族への予後の説明など事例を交えた解説）
講義：小児リハビリテーション	
目的	子どもの身体の特徴をふまえたリハビリテーション内容について理解し、看護師が実施できる内容について学ぶ
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 筋緊張のケア（リラクゼーション、ポジショニング等）を理解できる ROMエクササイズの内容が理解できる
学習方法	講義・演習 4 時間
具体的な講義内容	<ul style="list-style-type: none"> 筋緊張のケア（リラクゼーション、ポジショニング等）について ROMエクササイズの内容について
講義：家族の思いに寄り添う看護	
目的	疾病や障害をもつ小児を支える家族の現状を理解し、支援のありかたを学ぶ
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 疾病や障害をもつ子どもの家族及び介護者の思いがわかる 重症心身障害児者の家族の理解を深め、支援について検討できる 悲嘆の過程について理解する 家族の障害受容に対する支援方法について理解する
学習方法	講義・演習（ディスカッション）4 時間
具体的な講義内容	<ul style="list-style-type: none"> 疾病や障害をもつ子どもの家族及び介護者の思いがわかる（主たる介護者となる家族の思いの背景が理解できるように、事例を交えて説明） 重症心身障害児者の家族の理解を深め、支援について検討できるようにするために、ロールプレイを実施し、その後、ディスカッションをする 悲嘆の過程について 家族の障害受容に対する支援方法について、事例を交えて説明
分類④地域で活動する他職種について	
講義名：在宅生活を支える制度や社会資源について	
目的	在宅生活を支える制度やサービスを理解し、ケアに活用する方法を学ぶ
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 療育施設（医療型障害児入所施設・外来のみの療育センター）の役割・機能を理解できる 訪問看護師の役割について理解できる 障害者総合支援法とサービスについて理解できる

	<ul style="list-style-type: none"> ・小児の在宅療養を支援する制度について理解できる ・地域社会の資源の活用について検討できる
学習方法	講義 1 時間
具体的な講義内容	<ul style="list-style-type: none"> ・療育施設（医療型障害児入所施設・外来のみの療育センター）の役割・機能について ・訪問看護師の役割について（家族とのかかわりについて重点を置く） ・小児の在宅療養を支援する制度について（職種や制度の内容）
講義名：特別支援学校における看護の役割について	
目的	特別支援学校の機能・役割、学びの場で実践される医療的ケアの実際を学ぶ
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学校の機能・役割について理解できる ・学びの場で実践される医療的ケアの実際、看護職の役割について理解できる
学習方法	講義 1 時間
具体的な講義内容	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学校の機能・役割について ・学びの場で実践される医療的ケアの実際、看護職の役割について
講義名：児童相談所の機能と役割について	
目的	児童相談所の機能・役割を学び、小児、障害児者の虐待がおこる背景や関わりの実際を学ぶ
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・児童相談所の機能・役割がわかる ・小児虐待に対する児童相談所の関わりが理解できる ・小児、障害児者の虐待がおこる背景および家族のアセスメントについて理解できる
学習方法	講義 1 時間
具体的な講義内容	<ul style="list-style-type: none"> ・児童相談所の機能・役割について ・小児虐待に対する児童相談所の関わりについて ・小児、障害児者の虐待がおこる背景および家族のアセスメントについて
講義名：他職種の理解とチーム医療について	
目的	他職種の役割と機能を理解し、チームで支援をするために必要な方策について学ぶ
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・他職種の役割と機能について理解する ・他職種との連携について理解する ・チームで支援する際の看護師の役割について検討できる
学習方法	講義・演習（ディスカッション・ロールプレイなど） 2 時間
具体的な講義内容	<ul style="list-style-type: none"> ・他職種の役割と機能について ・他職種との連携について ・チームで支援する際の看護師の役割について検討する（他の医療者から、訪問看護師がどのような役割や機能を持っていると考えられているのか）
講義名：福祉用具	
目的	小児に特徴的な福祉用具の機能について理解し、正しく使用ができるよう注意点を学ぶ
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉用具の特徴について理解する ・用具を装着する際の注意点について理解できる
学習方法	講義 2 時間
具体的な講義内容	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉用具の特徴について（おとなが使用する用具とは違いがわかる座位保持やバギーなど） ・用具を装着する際の注意点について
講義名：相談支援と連携	
目的	相談支援の役割・機能について理解し、適切に制度を活用できるように学ぶ
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援の役割・機能について理解する ・相談支援員の役割・機能について理解する ・相談支援員と連携するための方策を理解する
学習方法	講義 2 時間
具体的な講義内容	<ul style="list-style-type: none"> ・障害福祉サービス等を申請した障害者（児）について、サービス等利用計画の作成、及び支給決定後のサービス等利用計画の見直し（モニタリング）、計画相談支援給付費又は障害児相談支援給付費の支給について ・子どもや家族がどのように病気や障害などを乗り越える力を持っているのか、事例を交えて説明

分類⑤施設等でのケアの実際

講義名：診療所におけるケアの実際を学ぶ

目的・到達目標	小児在宅医療を支える地域医療の実際を学ぶ
学習方法	診療所において見学実習 1 日
具体的な講義内容	<ul style="list-style-type: none"> ・同行訪問、同行見学を実施する ・訪問研修、見学時間などは、各施設で調整する ・各施設でオリエンテーションを受ける（各施設の役割、機能、従事する職員数、地域の特性、契約利用者の状況などの講義を受ける）

講義名：NICUにおける実際のケアを学ぶ

目的・到達目標	NICU の機能・役割を理解し、NICU における看護の実際を学ぶ
学習方法	NICU において見学実習 1 日
具体的な講義内容	<ul style="list-style-type: none"> ・同行訪問、同行見学を実施する ・訪問研修、見学時間などは、各施設で調整する ・各施設でオリエンテーションを受ける（各施設の役割、機能、従事する職員数、地域の特性、契約利用者の状況などの講義を受ける）

講義名：医療型入所施設・療養介護における実際のケアを学ぶ

目的・到達目標	入所施設の機能・役割を理解し、施設における看護の実際を学ぶ
学習方法	入所施設において見学実習 1 日
具体的な講義内容	<ul style="list-style-type: none"> ・同行訪問、同行見学を実施する ・訪問研修、見学時間などは、各施設で調整する ・各施設でオリエンテーションを受ける（各施設の役割、機能、従事する職員数、地域の特性、契約利用者の状況などの講義を受ける）
講義名：訪問看護の実際を学ぶ	
目的・到達目標	小児訪問看護の機能・役割を理解し、家庭におけるケアの実際を学ぶ
学習方法	訪問看護ステーションにおいて見学実習 2 日
具体的な講義内容	<ul style="list-style-type: none"> ・同行訪問、同行見学を実施する ・訪問研修、見学時間などは、各施設で調整する ・各施設でオリエンテーションを受ける（各施設の役割、機能、従事する職員数、地域の特性、契約利用者の状況などの講義を受ける）
講義名：特別支援学校における実際のケアを学ぶ	
目的・到達目標	特別支援学校の機能・役割を理解し、学びの場における看護の実際を学ぶ
学習方法	特別支援学校において見学実習 1 日
具体的な講義内容	<ul style="list-style-type: none"> ・同行訪問、同行見学を実施する ・訪問研修、見学時間などは、各施設で調整する ・各施設でオリエンテーションを受ける（各施設の役割、機能、従事する職員数、地域の特性、契約利用者の状況などの講義を受ける）
講義名：通所施設における実際のケアを学ぶ	
目的・到達目標	通所施設の機能・役割を理解し、日中活動の場における看護の実際を学ぶ
学習方法	通所施設において見学実習 1 日
具体的な講義内容	<ul style="list-style-type: none"> ・同行訪問、同行見学を実施する ・訪問研修、見学時間などは、各施設で調整する ・各施設でオリエンテーションを受ける（各施設の役割、機能、従事する職員数、地域の特性、契約利用者の状況などの講義を受ける）

IV. 小児訪問看護研修会の開催方法と工夫

1. 研修会開催の流れ



2. 研修会の企画について

ここでは、研修会の企画について詳しくご紹介します。

項目	開催方法・工夫
プログラムの立案 (小児訪問看護研修プログラムの活用)、 開催主体	1) 小児訪問看護研修プログラムの講義内容を全て行う場合は、講義数が多く研修期間が長期になるため、参考：全国訪問看護事業協会 小児訪問看護研修会 (P. 20～30) の内容を参考にし、継続的に研修会を開催するとよい。例えば、数年間の計画で1年に1回～数回の研修会を行う。初回は「はじめよう小児訪問看護 (入門編)」を行い、他の4つの編を順次行くと全ての研修が開催できる。 2) 小児訪問看護研修プログラムの全てを行う必要はなく、受講者のニーズが高い講義や今まで開催していなかった講義内容などを小児訪問看護研修プログラムから抽出し、カスタマイズして開催する。訪問看護支援センターや医療的ケア児支援センターと協働して開催する、もしくは、協働する際に小児訪問看護研修プログラムの活用を提案する。
講師の選定	1) 貴地域で活動している医師や看護師、理学療法士、医療的ケア児コーディネーター等に講義を依頼すると、地域の特性や特徴、どのような病院を受診しどのような連携をしているかなど具体的な講義内容となり、その地域で実際に活用できる。また、研修会後の実践においても相談役となってもらうことが期待できる。 2) 看護に関する講義については、地域の小児専門の看護師に行ってもらいと、地域の特性 (障害福祉の充実の実態・親の意識の違いなど) がわかるので、悩みや困りごとを共有できる。 3) 講師の検索サイトより、地域に合った専門医、看護師、理学療法士等に依頼する。 ・ 専門看護師・認定看護師の講師は、日本看護協会ホームページの認定資格者より検索できる。 【分野別都道府県別登録者検索】 http://nintei.nurse.or.jp/certification/General/GCPP01LS/GCPP01LS.aspx ・ 「小児訪問看護研修プログラム」の分類①重症心身障害・小児医療概論②医療・看護の知識各論の講師は、日本小児神経学会ホームページの専門医検索より検索できる。 【日本小児神経学会ホームページの専門医検索】 https://www.childneuro.jp/about/6422/ ・ 「摂食嚥下障害について学ぶ」、「口腔衛生について」、「摂食嚥下障害のある患者への援助方法」の講師は、NPO 法人口から食べる幸せを守る会ホームページ講演依頼フォームより検索できる。 【NPO 法人口から食べる幸せを守る会 講演依頼フォーム】 https://business.form-mailer.jp/lp/2b15c5f825948 4) 病院、施設の一覧より、地域に合った専門医、看護師、理学療法士等に依頼する。 ・ 「小児がんについて」の講師は、小児がん拠点病院の医師や連携施設の医師を、全国の小児がん診療施設の情報より問い合わせができる。

項目	開催方法・工夫
	<p>【全国の小児がん診療施設の情報】 https://www.ncchd.go.jp/center/activity/cancer_center/cancer_hospital_list/index.html</p> <p>・「小児訪問看護研修プログラム」の分類①重症心身障害・小児医療概論②医療・看護の知識各論の講師は、重症心身障害児施設一覧より問い合わせができる。</p> <p>【重症心身障害児施設一覧】 https://www.mamorukai.jp/related_info/</p> <p>・「呼吸障害の理解と肺理学療法」、「骨折・移乗介助・更衣」、「小児リハビリテーション」の講師は、施設に所属する理学療法士や看護師を全国重症心身障害日中活動支援事業所一覧より問い合わせができる。</p> <p>【全国重症心身障害日中活動支援事業所一覧】 https://www.mamorukai.jp/wp-content/uploads/2023/01/tsusyoR2.pdf</p>
研修形式	<ol style="list-style-type: none"> 1) 集合形式 おなじ場所に講師や受講者を研修開催日に集めて対面で実施する研修で、受講者同士の交流も行え、質疑応答ができる。決められた日時に決められた場所に行かなければならないため、時間の融通がきかない。 2) オンデマンド形式 あらかじめ制作した講義動画をインターネットで配信する。受講者の学習したいタイミングで見られ、また、配信期間中は分割受講や繰り返し受講が可能。タイムリーに質疑応答ができない。 3) ライブ形式 講義や演習（グループワーク）を、研修開催日にインターネットで配信する研修。講師や受講者同士の双方向の会話が可能で、臨場感のある研修が行える。学習環境に、カメラ付きパソコン、マイクが必要になる場合が多い。 4) アーカイブ配信 ライブ形式の研修会や実際に行われた研修を録画しておき、研修会後にも受講できるように配信すること。アーカイブで配信することの承諾をあらかじめ講師に取っておき、期間を決めて配信する。 <p>研修形式の選択時の留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演習やグループワークは、ライブ形式よりも集合形式で研修を行った方が学習効果を期待できる。 ・オンデマンド形式は、ほとんどの講義で行うことができるが参加者の人数によって質疑応答が難しい。 ・演習は、実際に自分の身体を使って学べるような形式でできると良い。
資金調達	<ol style="list-style-type: none"> 1) 人材育成のための地域医療介護総合確保基金の活用 2) 都道府県や市町村で助成金を出しているところがあるので、行政のホームページや担当に確認する。 3) 日本財団や勇美財団などの団体や企業が小児研修会の開催に助成を行っている場合がある。
演習物品	<p>シミュレータを使用して各講義に沿った演習を行うとよい。</p> <p>当協会より、5体のシミュレータ（CLA 23 小児看護実習モデル）の貸し出しを行っている。3歳児を想定した全身型のトレーニングモデルが行える。</p> <p>（全国訪問看護事業協会ホームページ→お役立ち情報→小児訪問看護について→シミュレータ（小児看護実習モデルCLA23）の貸し出し https://www.zenhokan.or.jp/simulator/）</p>

3. シミュレータ貸与要領の紹介

シミュレータ貸与要領

I 目的

小児訪問看護を推進するため、各地域で開催する小児訪問看護研修会の促進を目的に、当協会ではシミュレータの貸し出しを行う。

II 貸し出し対象

1. 会長が適当と認めた、全国訪問看護事業協会の会員及び関係団体等であって、小児訪問看護に関する研修、講習を開催するものとする。
2. 上記研修、講習については、複数の訪問看護事業所を対象としたもので、参加者が「概ね 5 人以上」のものとする。

III シミュレータ

- ・1 体から 5 体まで貸与可能
- ・小児看護実習モデル CLA23
- ・3 歳児を想定
身長約 90cm 重量約 6kg
特殊プラスチック製



IV 貸し出し方法

P3 シミュレータ貸与の流れ、P4 演習項目及び必要物品、買い取り消耗品一覧を参照。

- ① 当協会 HP(<https://www.zenhokan.or.jp>)→お役立ち情報→小児訪問看護について→シミュレータ(小児看護実習モデル CLA23)の貸し出し <https://www.zenhokan.or.jp/simulator/> から、【別紙 1-1】シミュレータ借入申込書 と【別紙 1-2】研修・講習計画書、買い取り消耗品申込み をダウンロードする
- ② 【別紙 1-1】シミュレータ借入申込書 と【別紙 1-2】研修・講習計画書、買い取り消耗品申込み を添付してメール(seminar@zenhokan.or.jp)で申込む
- ③ 当協会より【別紙 2】シミュレータ貸与決定通知書がメールで届く
- ④ 当協会より「株式会社京都科学(保管・運搬委託業者)」へ研修実施機関等への貸与を依頼
- ⑤ 請求書が、「株式会社京都科学(保管・運搬委託業者)」よりメールで届く
- ⑥ 費用を振り込む
- ⑦ 「株式会社京都科学」よりシミュレータが希望の住所に届く
- ⑧ 研修会后、シミュレータを「株式会社京都科学」へ返却する

V 消耗品

- ・消耗品については、借入者が実費を負担する。
- ・P19 演習項目及び必要物品、買い取り消耗品一覧を参照。

VI 貸与期間

- ・原則として2週間以内とする。

VII 費用

- ・1体あたりの費用

内容	費用
シミュレータ	0円
使用後の点検費用	3,500円
往路運搬	3,500円
復路運搬	京都科学と別途相談
消耗品(P19を参照)	実費

VIII 支払い

- ・株式会社京都科学へ振込む。
- ・振込先:三菱UFJ銀行 本郷支店 (普通)0067190 名義:カ)キョウトカガク
- ・振込手数料は借入者が負担する。

IX 返却方法

- ・返却時は、必ず取扱説明書の後片付けに関するページを再読し、チェックリストに沿って確認の上、株式会社京都科学へ返却する。

X 注意事項

- ・申込みからシミュレータの到着まで1月程度かかるため早めに申し込む。
- ・使用する前に必ず「取扱説明書」を熟読する。
- ・シミュレータに落下や大きなショックを与えない、マジックでの記入や印刷物を置いて移染をしない。心臓マッサージは禁止。
- ・シミュレータの不具合、紛失、破損時は速やかに「全国訪問看護事業協会」および「株式会社京都科学」に申し出る。
- ・紛失、破損時は借入者が全額修理費用を負担する。

XI 問い合わせ先

- ・シミュレータ借入申込み、研修・講習計画書、買い取り消耗品申込みについて
一般社団法人全国訪問看護事業協会

〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-3-12 壱丁目参番館 401

TEL:03-3351-5898 FAX:03-3351-5938

E-MAIL:seminar@zenhokan.or.jp

- ・シミュレータ、消耗品、運搬、費用、支払いについて

株式会社京都科学東京支店

〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目26番6号 NREG本郷三丁目ビル2階

TEL 03-3817-8071 FAX 03-3817-8075

演習項目及び必要物品、買い取り消耗品一覧

	演習項目	借入者が準備	買い取り消耗品
1	吸引(口、鼻、気管切開)	9Fr カテーテル	潤滑油 2,200 円(税込)
2	気管切開カニューレ固定 交換	気管切開カニューレ (内径 4.0mm) Yガーゼ カニューレホルダー	潤滑油 2,200 円(税込)
3	経鼻カニューレの固定	10Fr カテーテル 固定テープ	潤滑油 2,200 円(税込)
4	経鼻経管栄養	10Fr カテーテル 固定テープ 経管栄養セット	潤滑油 2,200 円(税込) 食道・胃バルブ 3300 円(税込)
5	ストマパウチの交換 (男児)	パウチ (ストマ直径3cm)	潤滑油 2,200 円(税込)
6	導尿	10Fr カテーテル	潤滑油 2,200 円(税込) 男児膀胱のバルブ 15,950 円(税込) 女児膀胱のバルブ 15,950 円(税込) 膀胱用のプラグ ※用途:水を入れたバルブの蓋 1,100 円(税込)
7	浣腸	18Fr カテーテル	潤滑油 2,200 円(税込) 直腸弁 4400 円(税込)
8	胃瘻 (男児)	胃瘻ボタン 経管栄養セット	
9	リハビリテーション	バスタオル、枕など	
10	体位変換	バスタオル、枕など	
11	おむつ交換	L~LL(ビッグ)サイズ	

参考：全国訪問看護事業協会 小児訪問看護研修会

●令和元年度 はじめよう小児の訪問看護Part1(基礎編) ～小児訪問看護の魅力を知ろう～

開催方法 集合形式	対 象 訪問看護に従事する看護師等
日 時 令和元年12月19日～21日(木～土)	定 員 約50名
会 場 アクセス渋谷フォーラム(東京都渋谷区渋谷2-15-1 渋谷クロスタワー27F)	参加費 当協会会員 40,000円 当協会会員以外 80,000円

講義・講師	時間・形式	到達目標	講義内容	講師の選び方、研修会開催方法、工夫
「小児訪問看護の実際」 訪問看護ステーションさんさん 田中 歩氏	2時間 集合形式	・小児訪問看護の実際が理解できる。	・訪問看護ステーションが行う退院支援の実際(地域の医師や病院との連携) ・小児訪問看護の実際	・小児訪問看護をおこなっている看護師
「家族に寄り添う看護part1」 訪問看護ステーションさんさん 森下 由佳氏	2時間 集合形式、 ロールプレイ	・家族のライフスタイルを理解する ・家族の環境を理解する ・母親の思いを理解する	・健康障がい子どもとその家族に及ぼす影響について ・小児医療を受ける家族の現状と課題 ・主介護者(主に母親)となる家族の・思いや背景がわかるような事例のロールプレイ。	・在宅の経験のある小児プライマリケア認定看護師、(旧)小児救急看護認定看護師、小児看護専門看護師(都道府県別の登録者一覧 http://nintei.nurse.or.jp/certification/General/GCPP01LS/GCPP01LS.aspx) ・集合形式による講義と演習、事例を元にロールプレイ ・ライブ形式による講義と演習、グループワーク(事例を元にディスカッション)うまくいった、いかなかった等 ・ファシリテーターは5～8人につき1人
「診療所が実施する小児在宅医療の実際」 浜松市発達医療総合福祉センター 友愛のさと診療所 副センター長 遠藤 雄策氏	2時間 集合形式	・小児在宅医療に関する開業医の取り組みが理解できる ・地域医療における開業医の役割・機能について理解できる	・医師との連携 ・小児科医の在宅医療の実際と課題について ・地域での訪問看護の連携の実際について ・子どもに特長的な感染症と予防接種について	・小児科診療所の医師
「小児看護の現状と課題」 東邦大学看護学部在宅看護学研究室 小児看護専門看護師 助教 倉田 慶子氏	1時間 集合形式	・新生児医療の実際と動向が理解できる ・NICUでケアを受ける子どもとその家族の状況が理解できる。	・小児医療をとりまく現状と動向 ・新生児看護の実際と動向 ・NICUでケアを受ける子どもとその家族の状況、NICU満床問題の背景など	・小児プライマリケア認定看護師、(旧)小児救急看護認定看護師、小児看護専門看護師(都道府県別の登録者一覧 http://nintei.nurse.or.jp/certification/General/GCPP01LS/GCPP01LS.aspx)

講義・講師	時間・形式	到達目標	講義内容	講師の選び方、研修会開催方法、工夫
「重症心身障害児者の原因となる疾患の理解」 心身障害児総合医療療育センター 研修・研究部長 中谷 勝利氏	2時間 集合形式	・重症心身障害児者の原因となる疾患、状態像と合併症について理解できる ・重症心身障害児の状態像に対応した治療方法やかかわりについて理解できる	・重症心身障害の原因となる疾患の合併症や治療について(出生前・出生時から新生時期・新生児期から18歳までの時期に分けた原因) ・重症心身障害となる疾患をもつ子どもの成長発達の実際と対応(事例)	・重症心身障害児に関わっている医師(重症心身障害児施設一覧 https://www.mamorukai.jp/related_info/ における医師、あるいは小児神経学会専門医のHP上 https://www.childneuro.jp/modules/senmoni/ で都道府県から、専門医を検索できるので、地域に合った専門医に依頼する)
「脳性まひ・筋疾患・染色体異常などの主な疾患」 心身障害児総合医療療育センター 研修・研究部長 中谷 勝利氏	2時間 集合形式	・脳性まひについて理解する ・代表的な筋疾患・染色体異常の病態や治療について理解する ・筋緊張の病態について理解できる	・脳性まひについて ・代表的な筋疾患の病態について ・代表的な染色体異常の病態について ・各疾患の治療について ・筋緊張の病態について	・重症心身障害児に関わっている医師(重症心身障害児施設一覧 https://www.mamorukai.jp/related_info/ における医師、あるいは小児神経学会専門医のHP上 https://www.childneuro.jp/modules/senmoni/ で都道府県から、専門医を検索できるので、地域に合った専門医に依頼する)
「骨折予防に重点をおいた移乗介助・更衣・ポジショニング」 訪問看護ステーションさんさん 理学療法士 佐藤 麻沙美氏	2時間 集合形式 演習	・骨の解剖生理を理解できる ・骨折予防の注意点を理解できる ・移乗の際の注意点を理解できる ・更衣の際の注意点を理解できる ・姿勢保持の注意点を理解できる	・骨の解剖生理について ・筋緊張のコントロール ・骨折予防の注意点について ・移乗の際の注意点について ・更衣の際の注意点について ・姿勢保持の注意点について	・小児看護をおこなっている看護師、理学療法士 ・在宅をおこなっている理学療法士 ・施設に所属する理学療法士や看護師(重症心身障害児施設一覧 https://www.mamorukai.jp/wp-content/uploads/2023/01/tsusyoR2.pdf) ・講義、演習は映像を用いて説明
「子どもの成長発達とフィジカルアセスメント」 川崎大師訪問看護ステーション 療養通所介護まこと 管理者 島田 珠美氏	6時間 集合形式 演習	・子どもの成長発達について理解できる ・子どもの全身アセスメントの方法が理解できる ・フィジカルアセスメントの方法を演習できる ・成長発達する子どもの日常生活援助・医療的ケアの実践時に安全・安楽への配慮や工夫が理解できる	【講義】 ・子どもの身体の生理的な特徴とフィジカルアセスメント(おとなと子どものフィジカルアセスメントの違いや詳しい生理学的変化の違い) ・子どもの成長発達について 【演習】 ・フィジカルアセスメントの実際 ・子どものシミュレーターを用いて演習	・小児プライマリケア認定看護師、(旧)小児救急看護認定看護師、小児看護専門看護師(都道府県別の登録者一覧 http://nintei.nurse.or.jp/certification/General/GCPP01LS/GCPP01LS.aspx) ・ライブ形式または集合形式による講義と演習、グループワーク ・ファシリテーターは5~6人につき1人

●令和3年度 小児訪問看護研修会 Part2～いのちを支える～

開催方法 ・オンデマンド形式(配信期間:8月1日～10月30日) ・ライブ配信(Zoom) 9月10日(金)10時00分～17時10分 10月22日(金) 9時30分～16時32分	募集時期 6月1日～8月29日 定員 約50名 対象 訪問看護に従事する看護師等 受講料 会員43,000円 → 18,000円 非会員83,000円 → 36,000円
--	--

講義・講師	時間・形式	到達目標	講義内容	講師の選び方、研修会開催方法、工夫
「小児がんについて」 医療法人財団はるたか会 理事長 前田 浩利 氏	3時間 オンデマ ンド形式	・子どもに特徴的ながんについて理解する ・がんの治療方法について理解する ・がん罹患している子どもの日常生活の注意点について理解する	・子どもに特徴的ながんについて ・がんの治療方法について ・がん罹患している子どもの日常生活の注意点について	・小児がんに関わっている医師(できれば在宅) ・小児がん拠点病院の医師や連携施設の医師 https://www.ncchd.go.jp/center/activity/cancer_center/cancer_hospitalist/index.html ・オンデマンド形式による講義
「よりよく生き抜くための 重症心身障害児者の看護」 都立府中療育センター緩和ケア 認定看護師 荒谷 智子 氏	2時間 ライブ形 式	・疾病により身体機能の危機的状態にある、および成長発達・加齢に伴い終末期に向う重症心身障害児者の病態が理解できる ・重症心身障害児者の治療の選択、家族の思いを理解することができる ・終末期に向かうあるいは終末期にある重症心身障害児者とその家族の支援について考えることができる	・疾病により身体機能の危機的状態にある(幼少期の身体機能の未熟さによる症状や進行性疾患による症状や病態)、および成長発達・加齢に伴い身体機能の変化によって表出する症状の悪化(側弯などによる呼吸障害、嚥下機能の低下による誤嚥性肺炎の繰り返し)などの重症心身障害児者の病態について ・重症心身障害児者の治療の選択、家族の思いについて ・終末期に向かうあるいは終末期にある重症心身障害児者とその家族の看護(痛みのケア・呼吸を安楽にするケア・家族と共に過ごすためのケア・家族への予後の説明など事例を交えた解説)	・小児プライマリケア認定看護師、(旧)小児救急看護認定看護師、小児看護専門看護師、緩和ケア認定看護師(都道府県別の登録者一覧 http://nintei.nurse.or.jp/certification/General/GCPP01LS/GCPP01LS.aspx) ・ライブ形式または集合形式による講義と演習、グループワーク ・ファシリテーターは5～8人につき1人

講義・講師	時間・形式	到達目標	講義内容	講師の選び方、研修会開催方法、工夫
「他職種の理解とチーム医療について」 浜松市発達医療総合福祉センター 相談支援事業所シグナル 尾関 ゆかり 氏	1時間30分 ライブ形式	・疾病や障害をもつ小児を支える家族の現状を理解し、支援のありかたを学ぶ。	・他職種の役割と機能について ・他職種との連携について ・チームで支援する際の看護師の役割について検討する(他の医療者から、訪問看護師がどのような役割や機能を持っていると考えられているのか)	・医療的ケア児の支援相談員 ・地域の医療的ケア児支援センターに依頼
「子どもの権利と倫理のかかわり」 心身障害児総合医療療育センター 仁宮 真紀 氏	2時間30分 ライブ形式	・子どもの権利を理解する ・倫理的な関わりについて考えることができる	・日本国憲法における子どもの権利について ・子どもの権利条約について ・倫理の概念 ・看護協会における倫理指針について ・日常のケア場面における倫理的配慮・ケアを事例を示す	・小児プライマリケア認定看護師、(旧)小児救急看護認定看護師、小児看護専門看護師(都道府県別の登録者一覧 http://nintei.nurse.or.jp/certification/General/GCPP01LS/GCPP01LS.aspx) ・ライブ形式または集合形式による講義と演習、グループワーク ・ファシリテーターは5～8人につき1人
「家族の思いに寄り添う看護」 訪問看護ステーションさんさん 森下 由佳 氏	3時間 ライブ形式	・疾病や障害をもつ子どもの家族及び介護者の思いがわかる ・重症心身障害児者の家族の理解を深め、支援について検討できる ・悲嘆の過程について理解する ・家族の障害受容に対する支援方法について理解する	・疾病や障害をもつ子どもの家族及び介護者の思いがわかる(主たる介護者となる家族の思いの背景が理解できるように、事例を交えて説明) ・重症心身障害児者の家族の理解を深め、支援について検討できるようにするために、ロールプレイを実施し、その後、ディスカッションをする ・悲嘆の過程について ・家族の障害受容に対する支援方法について、事例を交えて説明	・在宅の経験のある小児プライマリケア認定看護師、(旧)小児救急看護認定看護師、小児看護専門看護師(都道府県別の登録者一覧 http://nintei.nurse.or.jp/certification/General/GCPP01LS/GCPP01LS.aspx) ・集合形式による講義と演習、事例を元にロールプレイ ・ライブ形式による講義と演習、グループワーク(事例を元にディスカッション)うまくいった、いかなかった等 ・ファシリテーターは5～8人につき1人
「急変時の対応」 心身障害児総合医療療育センター 川崎 まこと 氏	3時間 ライブ形式	・小児のBLS技術が実践できる ・小児の緊急時の対応について具体的にイメージできる	・小児のBLS技術が実践できるように演習を実施する ・小児の緊急時の対応について具体的にイメージできるように事例を交え、ポイントを説明	・小児プライマリケア認定看護師、(旧)小児救急看護認定看護師、心肺蘇生がおこなえる人(都道府県別の登録者一覧 http://nintei.nurse.or.jp/certification/General/GCPP01LS/GCPP01LS.aspx) ・ライブ形式または集合形式による講義と演習、グループワーク ・BLSモデルを1人1体(5000円)があると良い ・講師、ファシリテーターはBLSモデルを使える人

令和3年度 小児訪問看護研修会 Part3～活動すること～

開催方法 ・オンデマンド形式（配信期間：9月1日～10月31日） ・ライブ配信（Zoom） 10月23日（土）13時30分～16時30分 ・対面研修 12月11日（土）13時30分～16時30分 場所：AP日本橋（東京都中央区日本橋3-6-2日本橋フロント7F）	募集時期 7月1日～8月29日 対象 訪問看護に従事する看護師等 定員 約50名 受講料 会員43,000円 → 18,000円 非会員83,000円 → 36,000円
--	--

講義・講師	時間・形式	到達目標	講義内容	講師の選び方、研修会開催方法、工夫
「耳の機能・耳鼻科疾患について学ぶ」 浜松医科大学 耳鼻咽喉科頭頸部外科 喜多淳哉 氏	53分 オンデマ ンド形式	・耳鼻科疾患について理解する ・耳鼻科疾患の治療方法について理解する	・耳鼻科疾患について ・耳鼻科疾患の治療方法について	・障害児に関わっている医師 ・重症心身障害児施設一覧 https://www.mamorukai.jp/related_info/ における医師で都道府県から、専門医を検索できるので、地域に合った専門医に依頼する ・病院の耳鼻科医師 ・オンデマンド形式による講義
「眼の機能・眼科疾患について学ぶ」 杏林大学医学部附属病院 眼科 講師 鈴木由美 氏	47分 オンデマ ンド形式	・眼の機能を理解する ・眼科疾患について理解する ・眼科疾患の治療方法について理解する	・眼の機能について ・眼科疾患について ・眼科疾患の治療方法について	・障害児に関わっている医師 ・重症心身障害児施設一覧 https://www.mamorukai.jp/related_info/ における医師で都道府県から、専門医を検索できるので、地域に合った専門医に依頼する ・病院の眼科医師 ・オンデマンド形式による講義
「睡眠障害について」 心身障害児総合医療療育センター 研修・研究部長 中谷 勝利 氏	1時間11分 オンデマ ンド形式	・睡眠のメカニズムについて理解する ・睡眠障害のメカニズムについて理解する ・睡眠障害の治療について理解する ・睡眠障害への援助方法について理解する	・睡眠のメカニズムについて ・睡眠障害のメカニズムについて ・睡眠障害の治療について ・睡眠障害への援助方法について	・障害児に関わっている医師、小児神経科をやったことがある小児科医師 ・重症心身障害児施設一覧 https://www.mamorukai.jp/related_info/ における医師、あるいは小児神経学会専門医のHP上 https://www.childneuro.jp/modules/senmoni/ で都道府県から、専門医を検索できるので、地域に合った専門医に依頼する ・オンデマンド形式による講義
「てんかん発作について」 心身障害児総合医療療育センター 研修・研究部長 中谷 勝利 氏	2時間42分 オンデマ ンド形式	・てんかんの原因、診断、治療について理解する ・てんかん発作の観察ポイントについて理解する ・てんかん発作を予防するための日常生活管理について理解する	・てんかんの原因、診断、治療について ・てんかん発作の観察ポイントについて ・てんかん発作を予防するための日常生活管理について	・障害児に関わっている医師、小児神経科をやったことがある小児科医師 ・重症心身障害児施設一覧 https://www.mamorukai.jp/related_info/ における医師、あるいは小児神経学会専門医のHP上 https://www.childneuro.jp/modules/senmoni/ で都道府県から、専門医を検索できるので、地域に合った専門医に依頼する ・オンデマンド形式による講義

講義・講師	時間・形式	到達目標	講義内容	講師の選び方、研修会開催方法、工夫
「発達障害の理解と対応」 心身障害児総合医療療育センター 小児科 米山 明 氏	2時間48分 オンデマンド形式	・発達障害の原因、分類が理解できる ・発達障害を持つ子どもとその家族への適切な対応や、援助の方法がわかる	・発達障害とは、原因とメカニズムについて ・発達障害がある子どもとその家族への対応について	・障害児に関わっている医師、小児神経科をやったことがある小児科医師 ・重症心身障害児施設一覧 https://www.mamorukai.jp/related_info/ における医師、あるいは小児神経学会専門医のHP上 https://www.childneuro.jp/modules/senmoni/ で都道府県から、専門医を検索できるので、地域に合った専門医に依頼する ・オンデマンド形式による講義
「児童相談所の機能と役割について」 千葉県柏児童相談所 所長 渡邊 直 氏	1時間2分 オンデマンド形式	・児童相談所の機能・役割がわかる ・小児虐待に対する児童相談所の関わりが理解できる ・小児、障害児者の虐待がおこる背景および家族のアセスメントについて理解できる	・児童相談所の機能・役割について ・小児虐待に対する児童相談所の関わりについて ・小児、障害児者の虐待がおこる背景および家族のアセスメントについて	・児童相談所の職員 ・重症心身障害児にかかわっている医師が知っている場合がある ・オンデマンド形式による講義
「特別支援学校における看護の役割について」 はみんぐ訪問看護ステーション 埴 真美子 氏	48分 オンデマンド形式	・特別支援学校の機能・役割について理解できる ・学びの場で実践される医療的ケアの実際、看護職の役割について理解できる	・特別支援学校の機能・役割について ・学びの場で実践される医療的ケアの実際、看護職の役割について	・特別支援学校の看護師 ・特別支援学校と連携している訪問看護師、特別支援学校の校長、特別支援学校の担当課 ・オンデマンド形式による講義
「福祉用具・装具について」 東京小児療育病院 リハビリテーション科長 丸森睦美 氏	2時間22分 オンデマンド形式	・福祉用具の特徴について理解する ・用具を装着する際の注意点について理解できる	・福祉用具の特徴について(おとなが使用する用具とは違いがわかる座位保持やバギーなど) ・用具を装着する際の注意点について	・義肢装具士 ・小児装具を作成している小児整形外科医師 ・オンデマンド形式による講義
「最近の小児医療・重症心身障害児の医療・看護の動向」 順天堂大学大学院医療看護学研究科 倉田 慶子 氏	3時間 ライブ形式	・子どもをとりまく医療と看護の動向、環境について理解できる ・重症心身障害児の医療について理解できる ・小児訪問看護における看護の課題を検討できる	・小児医療の現状・課題とは ・医療的ケアとは(概念・状態像など) ・小児医療における重症心身障害児の医療の現状と課題 ・重症心身障害児の高齢化と移行期ケアについて ・小児医療で活用できる医療費制度について(政策や取り組みなどを含む)	・小児看護専門看護師(都道府県別の登録者一覧 http://nintei.nurse.or.jp/certification/General/GCPP01LS/GCPP01LS.aspx) ・小児看護をおこなっている看護師 ・ライブ形式または集合形式による講義と演習 ・グループワークの経験がある人

講義・講師	時間・形式	到達目標	講義内容	講師の選び方、研修会開催方法、工夫
「小児リハビリテーション」 東京小児療育病院 リハビリテーション科長 丸森睦美 氏	3時間 集合形式	・筋緊張のケア(リラクゼーション、ポジショニング等)を理解できる ・ROMエクササイズの内容が理解できる	・筋緊張のケア(リラクゼーション、ポジショニング等)について ・ROMエクササイズの内容について	・肺理学療法をおこなっている理学療法士 ・施設に所属する理学療法士や看護師(重症心身障害児施設一覧 https://www.mamorukai.jp/wp-content/uploads/2023/01/tsusyoR2.pdf) ・集合形式による講義と演習 ・受講者が体験できるようにする ・ファシリテーターは5～6人につき1人、講師と同様の技術がある ・タイムキーパーは演習中に交代のタイミングの声かけをする ・演習使用物品はヨガマット(大判バスタオルやブルーシートでも代用可)枕(バスタオル代用可)等、受講者に持参してもらうとよい

令和4年度 小児訪問看護研修会part4 ～呼吸すること～

開催方法 ・オンデマンド形式 9月22日～11月30日 ・ライブ配信 10月21日(金)13時30分～16時30分 ・対面研修 10月29日(土)13時00分～17時00分 会場:グランパークカンファレンス (東京都港区芝浦3丁目4-1田町グランパークプラザ棟3階)	募集期間 7月1日～9月15日 対象 訪問看護に従事する看護師等 定員 約50名 受講料 会員26,000円 非会員39,000円
---	--

講義・講師	時間・形式	到達目標	講義内容	講師の選び方、研修会開催方法、工夫
「呼吸障害について」 川崎市北部地域療育センター 医師 山口 直人 氏	3時間 オンデマ ンド形式	呼吸のメカニズムを理解する。呼吸障害のメカニズムを理解する。呼吸障害に対する治療について理解する	呼吸のメカニズムについて／呼吸障害のメカニズムについて／呼吸障害に対する治療について(看護における注意点なども含める)	・地域の障害児専門医師(重症心身障害児施設一覧 https://www.mamorukai.jp/related_info/ における医師、あるいは小児神経学会専門医のHP上 https://www.childneuro.jp/modules/senmoni/ で都道府県から、専門医を検索できるので、地域に合った専門医に依頼する) ・オンデマンド形式による講義
「心疾患(心奇形)について」 神奈川県立こども医療センター 循環器内科医長 柳 貞光 氏	3時間 オンデマ ンド形式	先天性心疾患について理解する。先天性心疾患の治療方法について理解する。先天性心疾患の日常生活の注意点について理解する。	先天性心疾患について／先天性心疾患の治療方法について(手術の方法なども含む)／先天性心疾患の日常生活の注意点について	・地域の障害児専門医師(重症心身障害児施設一覧 https://www.mamorukai.jp/related_info/ における医師、あるいは小児神経学会専門医のHP上 https://www.childneuro.jp/modules/senmoni/ で都道府県から、専門医を検索できるので、地域に合った専門医に依頼する) ・オンデマンド形式による講義
「循環器について」 神奈川県立こども医療センター 循環器内科医長 柳 貞光 氏	2時間 オンデマ ンド形式	循環機能を理解する。循環器疾患について理解する。循環器疾患の治療方法について理解する。	循環機能について／循環器疾患について／循環器疾患の治療方法について／心臓の冠動脈に病変を残す「川崎病」、学校検診でみつかると「不整脈」や「心筋症」について	・地域の障害児専門医師(重症心身障害児施設一覧 https://www.mamorukai.jp/related_info/ における医師、あるいは小児神経学会専門医のHP上 https://www.childneuro.jp/modules/senmoni/ で都道府県から、専門医を検索できるので、地域に合った専門医に依頼する) ・オンデマンド形式による講義
「呼吸障害の理解と肺理学療法」 東京小児養育病院リハビリテーション科 科長 丸森 睦美 氏	4時間 集合形式 (演習)	呼吸のメカニズムを理解し、呼吸障害の評価のポイントができる。効果的なポジショニング、リラクゼーションについて理解し、実践することができる。	呼吸のメカニズムを理解し、呼吸障害の評価のポイントについて／効果的なポジショニング、リラクゼーションについて	・肺理学療法をおこなっている理学療法士 ・施設に所属する理学療法士や看護師(重症心身障害児施設一覧 https://www.mamorukai.jp/wp-content/uploads/2023/01/tsusyoR2.pdf) ・集合形式による講義と演習 ・受講者が体験できるようにする ・ファシリテーターは5～6人につき1人、講師と同様の技術がある ・タイムキーパーは演習中に交代のタイミングの声をかける ・演習使用物品はヨガマット(大判バスタオルやブルーシートでも代用可)枕(バスタオル代用可)等、受講者に持参してもらうとよい

講義・講師	時間・形式	到達目標	講義内容	講師の選び方、研修会開催方法、工夫
「呼吸障害の看護について」 中野区子ども発達センターたんぼぼ 小児看護専門看護師 仁宮 真紀 氏 訪問看護ステーションさんさん 森下 由佳 氏	3時間 ライブ形式 (講義・グループワーク)	呼吸障害に対する観察ポイントが理解できる。ネブライザーや在宅酸素吸入器などの使用方法が理解できる。安楽に呼吸するための援助方法が理解できる。	人工呼吸器のアラームへの対処方法などについて／気管切開部への対応について／ネブライザーや在宅酸素吸入時の注意点について／吸引の際の注意点について	・在宅で小児看護をおこなっている看護師で、小児プライマリケア認定看護師、(旧)小児救急看護認定看護師、小児看護専門看護師(都道府県別の登録者一覧 http://nintei.nurse.or.jp/certification/General/GCPPO1LS/GCPP01LS.aspx) ・ライブ形式または集合形式による講義と演習
「人工呼吸器の基礎」 KIDS CE Advisory 代表 臨床工学アドバイザー臨床工学技士 松井 晃 氏	2時間 オンデマンド形式	人工呼吸器の原理が理解できる。人工呼吸器管理中の注意点、看護について理解できる。	人工呼吸器の原理について／人工呼吸器管理中の注意点、看護について	・人工呼吸器を実際に在宅で扱っている業者が良い ・オンデマンド形式による講義
「在宅生活を支える制度や社会資源について」 千葉県千葉リハビリテーションセンター 千葉県医療的ケア児等支援センターぱらりす 医療的ケア児等コーディネーター 景山 朋子 氏	2時間 オンデマンド形式	療育施設(医療型障害児入所施設・外来のみの療育センター)の役割・機能を理解できる。訪問看護師の役割について理解できる。障害者総合支援法とサービスについて理解できる。小児の在宅療養を支援する制度について理解できる。地域社会の資源の活用について検討できる。	療育施設(医療型障害児入所施設・外来のみの療育センター)の役割・機能について／訪問看護師の役割について(家族とのかかわりについて重点を置く)／利用者と家族を支えている関係機関の概要はあったほうが良い。学校や教育にも関連する。／小児の在宅療養を支援する制度について(職種や制度の内容)	・医療的ケア児を担当しているコーディネーターや相談員 ・地域の医療的ケア児支援センターに依頼 ・オンデマンド形式による講義

●令和4年度 小児訪問看護研修会part5 ～食べること～

開催方法 ・オンデマンド形式 10月20日～12月31日 ・ライブ配信 11月5日(土)10時00分～17時00分	募集期間 8月1日～10月15日 対象 訪問看護に従事する看護師等 定員 約50名 受講料 会員26,000円 非会員39,000円
---	---

講義・講師	時間・形式	到達目標	講義内容	講師の選び方、研修会開催方法、工夫
「重症心身障害児医療の歴史・重症心身障害の概念・診断」 全国療育相談センター副センター長／(前)心身障害児総合医療療育センター 米山 明 氏	2時間 オンデマンド形式	重症心身障害児医療の歴史の変遷がわかる。重症心身障害児の概念が理解できる。重症心身障害児の診断(大島分類など)が理解できる。	重症心身障害児の医療の歴史の変遷について／重症心身障害児の概念／重症心身障害児の診断(大島分類について)	・近隣の小児病院の病院長(重症心身障害児施設一覧 https://www.mamorukai.jp/related_info/ における医師、あるいは小児神経学会専門医のHP上 https://www.childneuro.jp/modules/senmoni/ で都道府県から、専門医を検索できるので、地域に合った専門医に依頼する) ・障害児支援団体 ・オンデマンド形式による講義
「消化器疾患と栄養障害について」 茨城福祉医療センター 外科・小児外科部長 平井 みさ子 氏	2時間 オンデマンド形式	消化のメカニズムを理解する。消化器疾患の病態を理解する。消化器疾患への治療方法について理解する。栄養のメカニズムを理解する。	消化のメカニズムについて／消化器疾患の病態について／消化器疾患への治療方法について／栄養のメカニズムについて	・地域の障害児専門医師(重症心身障害児施設一覧 https://www.mamorukai.jp/related_info/ における医師、あるいは小児神経学会専門医のHP上 https://www.childneuro.jp/modules/senmoni/ で都道府県から、専門医を検索できるので、地域に合った専門医に依頼する) ・オンデマンド形式による講義
「摂食嚥下障害について学ぶ」 日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック 教授 田村 文誉 氏	2時間 オンデマンド形式	摂食嚥下のメカニズム、解剖生理が理解できる。摂食嚥下障害の原因、病態が理解できる。摂食嚥下障害の治療・対応方法が理解できる。	摂食嚥下のメカニズム、解剖生理について／摂食嚥下障害の原因、病態について／摂食嚥下障害の治療・対応方法について	・小児の摂食嚥下障害にかかわっている医師、または歯科医師、看護師 ・在宅をおこなっている歯科医師 ・嚥下訓練、リハビリテーションをおこなっている歯科医師、または言語療法士、看護師 ・摂食嚥下障害看護認定看護師(都道府県別の登録者一覧 http://nintei.nurse.or.jp/certification/General/GCPP01LS/GCPP01LS.aspx) ・NPO法人口から食べる幸せを守る会HP(講演依頼フォーム https://business.form-mailer.jp/lp/2b15c5f825948) ・オンデマンド形式による講義

講義・講師	時間・形式	到達目標	講義内容	講師の選び方、研修会開催方法、工夫
「排便障害について学ぶ」 静岡県立大学看護学部看護学科 助教 池田 麻左子 氏	1時間	排便のメカニズムが理解できる。 排便障害の病態が理解できる。排 便障害への治療方法が理解でき る。	排便のメカニズムについて／排便障害の 病態について／排便障害への治療方法 について	・小児看護専門看護師(都道府県別の登録者一覧 http://nintei.nurse.or.jp/certification/General/GCPP01LS/GCPP01LS.aspx) ・オンデマンド形式による講義
「排尿障害について学ぶ」 中野区子ども発達センターたんぼぼ 小児看護専門看護師 仁宮 真紀 氏	1時間 オンデマ ンド形式	排尿のメカニズムが理解できる。 排尿障害の病態が理解できる。排 尿障害への治療方法が理解でき る。排尿障害の援助方法について 理解する。	排尿のメカニズムについて／排尿障害の 病態について／排尿障害への治療方法 について／排尿障害の援助方法につい て	・小児看護専門看護師(都道府県別の登録者一覧 http://nintei.nurse.or.jp/certification/General/GCPP01LS/GCPP01LS.aspx) ・オンデマンド形式による講義
「相談支援と連携」 浜松市発達医療総合福祉センター 相談支援事業所シグナル 尾関 ゆかり 氏	2時間 オンデマ ンド形式	相談支援の役割・機能について理 解する。相談支援員の役割・機能 について理解する。相談支援員と 連携するための方策を理解する。	障害福祉サービス等を申請した障害者 (児)について、サービス等利用計画の作 成、及び支給決定後のサービス等利用計 画の見直し(モニタリング)、計画相談支 援給付費又は障害児相談支援給付費の 支給について／子どもや家族がどのよ うに病気や障害などを乗り越える力を 持っているのか、事例を交えて説明	・医療的ケア児を担当しているコーディネーターや相談員 ・地域の医療的ケア児支援センターに依頼 ・オンデマンド形式による講義
「摂食嚥下障害のある患者への援助方 法」 株式会社東京リハビリテーション 摂食 嚥下障害看護認定看護師 金 志純 氏	3時間 ライブ形 式 (演習)	摂食嚥下障害がある利用者の摂 食介助時の注意点が理解できる。 摂食嚥下障害がある利用者の摂 食介助を演習できる。	摂食嚥下障害がある利用者の摂食介助 時の注意点について	・摂食嚥下障害看護認定看護師(都道府県別の登録者一覧 http://nintei.nurse.or.jp/certification/General/GCPP01LS/GCPP01LS.aspx) ・NPO法人から食べる幸せを守る会HP(講演依頼フォーム https://business.form-mailer.jp/lp/2b15c5f825948) ・ライブ形式による講義と演習
「口腔衛生について」 株式会社東京リハビリテーション 摂食 嚥下障害看護認定看護師 金 志純 氏	3時間 ライブ形 式 (演習)	口腔の解剖生理と機能について 理解できる。清潔を保つ口腔ケア の方法がわかる	口腔の解剖生理と機能について／清潔 を保つ口腔ケアの方法と注意点につい て	・摂食嚥下障害看護認定看護師(都道府県別の登録者一覧 http://nintei.nurse.or.jp/certification/General/GCPP01LS/GCPP01LS.aspx) ・NPO法人から食べる幸せを守る会HP(講演依頼フォーム https://business.form-mailer.jp/lp/2b15c5f825948) ・ライブ形式による講義と演習

小児訪問看護研修プログラムの活用ガイド

～地域で研修会を開催するために～

発行日：令和7年3月

編集・発行：一般社団法人 全国訪問看護事業協会
〒160-0022

東京都新宿区新宿 1-3-12 壺丁目参番館 401

TEL：03-3351-5898 FAX：03-3351-5938

「小児訪問看護研修プログラムの活用ガイド」の詳しい内容は、
「小児訪問看護推進検討部会活動報告書」(<https://www.zenhokan.or.jp/wp-content/uploads/r5-1.pdf>)
をご覧ください。